

第31回 鹿児島県柔道選手権大会 (第63回九州柔道選手権大会鹿児島県予選) 実施要項

- 1 主催 公益財団法人鹿児島県柔道会
2 後援 鹿児島県教育委員会 公益財団法人鹿児島県体育協会
鹿児島市 鹿児島市教育委員会 南日本新聞社
3 期日 令和3年2月6日(土)
※ 審判会議 = 9時30分
※ 開会式 = 10時00分
4 会場 西原商会(鹿児島アリーナ)メインアリーナ

5 出場資格

- (1) 県内で令和2年度の全日本柔道連盟登録済の者。
(2) 下記に示した人数以下及び主催者が特に認めた者とする。
① 各地区 鹿児島地区4名、その他の地区2名以内とする。ただし、肝属地区については、自衛隊枠を別に2名設ける。なお、下記の②～⑦に該当する者は除く。
② 県警察 6名以内
③ 鹿児島刑務所 3名以内
④ 国分自衛隊 4名以内
⑤ 鹿屋体育大学 6名以内
⑥ 鹿児島大学 2名以内
⑦ 高体連 若干名
⑧ 推薦 前年度の1・2位入賞者
⑨ その他、主催者が認めた者

6 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定で行う。
(2) 試合時間は4分間とする。
(3) 優勢勝ちの判定基準は、全日本選手権、九州選手権に準ずる。
(4) 試合の方法は、トーナメント方式とする。

7 組合せ 主催者において決定する。

8 表彰

- (1) 第1位から第5位までを表彰する。
(第3位決定戦は行わない。第5位決定戦を行う。)
(2) 長年出場者を表彰する。

9 参加料 2,000円(大会当日、受付で納入する。)

10 参加申込み 令和2年12月18日(金)必着で申し込みすること。

11 その他

- (1) 脳震盪対応について
ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。
イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。
(3) 上位4名は、3月7日(日)に福岡武道館で行われる第63回九州柔道選手権大会の出場権を得る。但し、特別な事由がある場合は、この限りではない。
(4) 選手は、「スポーツ安全保険」等に加入しており、健康であること。
(5) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。
(6) ゼッケンは、必ず対角線にも縫い付けること。
(7) 当日は駐車場の混雑が予想されるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。
(8) 出場者は、「スポーツ安全保険」等に加入しており、健康であること。
(9) 個人で靴を管理するために、各自ビニール袋を準備すること。